

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

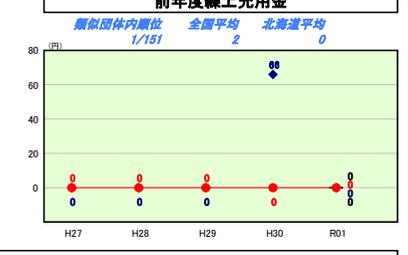
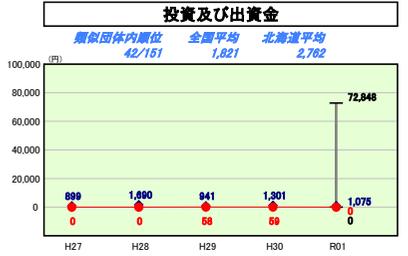
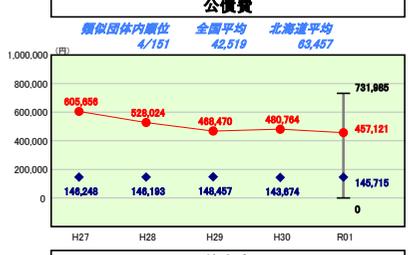
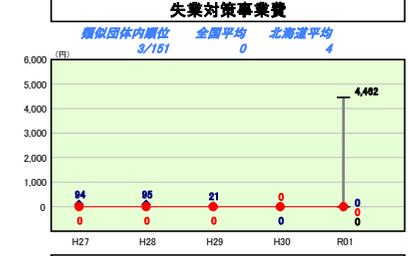
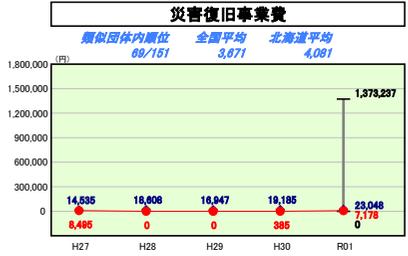
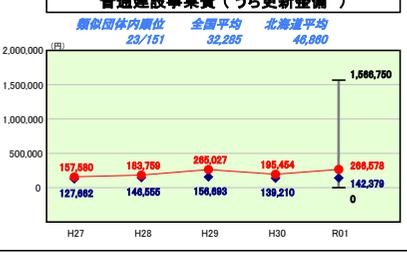
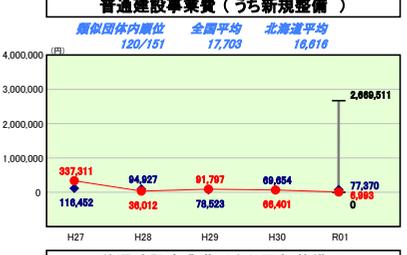
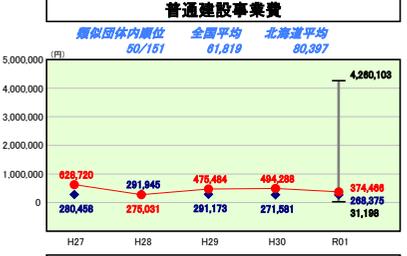
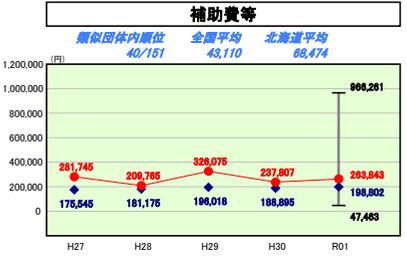
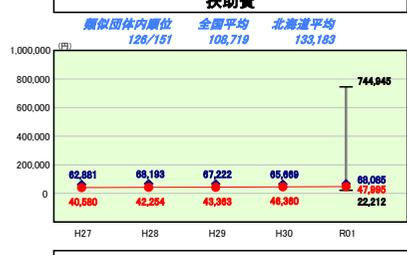
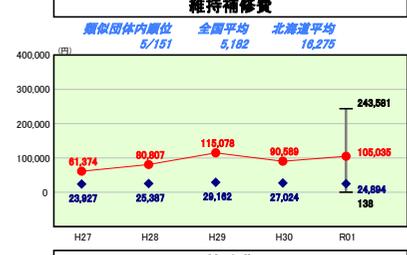
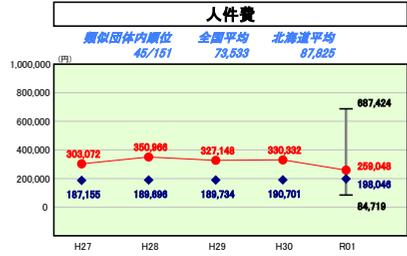
令和元年度

北海道概延町

人口	2,294人(政.1.1現在)	実収赤字比率	-%
うち日本人	2,267人(政.1.1現在)	通算実収赤字比率	-%
面積	574.10km ²	実収公債費比率	8.8%
歳入総額	5,015,544千円	実収負担比率	-%
歳出総額	4,895,666千円	市町村類型	H27 I-O H28 I-O H29 I-O
実収取支	91,868千円	(年度毎)	H30 I-O R01 I-O
標準財政規模	2,865,192千円		
地方債現在高	3,418,000千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

公債費は、住民一人当たり457.121円となっているが、近年の大型建設事業実施に係る地方債の元金償還のため、平成23年度以降数値は上昇したが、平成22年度以降に借入れた地方債の償還が平成27年度に完済したこと等により数値は下降している。また、類似平均 団体を大きく上回っているが、これは、意図的に償還年数を圧縮したものであり、交付税算入となる有利な地方債が多く占めることにより、経常一般財源が確保できるため、それほど懸念すべき状況ではないと思われる。